

ガーナでそろばんプロジェクト 97 号(2021 年 11 月 7 日)

★★ 繰り上がりの理解 ★★

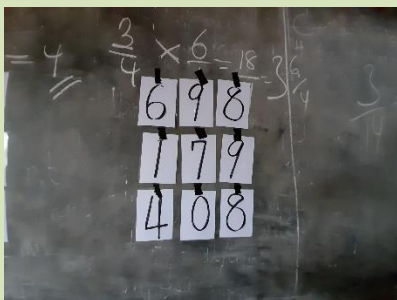
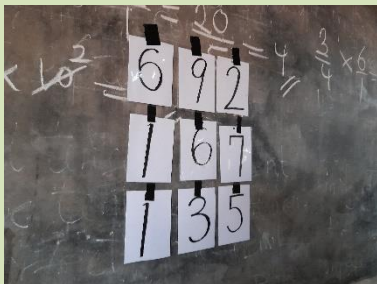
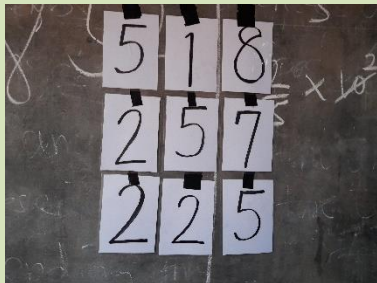
教員不足による合同クラスは依然5年生6年生が合同クラスになっていきます。これまで6年生は授業でそろばんを行なったことはありませんでした。6年生にとって合同クラスの中でのそろばんは良い意味で6年生に刺激を与えているようです。また授業の様子を外から見ている中学生クラスの生徒にも刺激を与えているようです。今月15日からガーナでは高校入試が約2週間かけて行われます。成績が優れている生徒はそれなりの高校を目指し受験科目も少なく英数理の3科目となりますが、合計点数が高校入学の基準となるため、デバインアカデミースクールの生徒は全ての教科の9科目を受けることになります。この高校入試を迎える生徒の中には正直、棒を書いて計算している生徒も見かけます。棒を書いて計算をしている中学生だからこそ、そろばんの授業は刺激を受けるものなのでしょう。



繰り上がりの計算を取り入れた日、何度も何度も *yo ko no* を指導しました。かつてお兄さんとそろばん教室に通っていたアントニーが隣の席の子に教えているのがわかります。



4桁の繰り上がりのある足し算に足を止めて教室の外から見る中学生、5年生が次々に珠を読んでいく様子に必死についていこうとする6年生。しかしこうした中でも繰り返し指導する *yo ko no* が簡単すぎると嘲笑う生徒や何も考えずただ座っているだけの生徒もいるのも現実問題です。全員を引っ張り押し上げていくことへの難しさを痛感しています。誰一人取り残さないなんて本当にできるのでしょいか。



五珠から貰う繰り上がりは今後の取り組みになります。5珠から貰う繰り上がりが理解できるようになると繰り下りの理解も絶対に出来るはずです。

協賛



トモエそろばん様

報告 TOSHIKO